

まちなか工房が支援する 中心市街地活性化の取り組み

～まちづくりの家庭医として～



熊本城地区

築城400年を迎えた熊本城を中心に多くの文化施設が立地。貴重な歴史遺産であると同時に都市型観光拠点の役割を担う。記念事業で、櫓や門、本丸御殿大広間などを復元した。昨年4月の本丸御殿一般公開の効果もあり、昨年度の入場者数は過去最高の221万9517人に上り、全国の城で日本一の入場者数。

本丸御殿大広間

新町・古町地区

旧城下町の町人町に対応。夜間人口や事業者の転出でかつての賑わいや失われた。しかし、町割りが城下町の面影を伝える一方、明治大正建築も散見され、歴史と伝統が息づき、独特の生活文化が感じられる。

古町の町屋

通町・桜町地区

この地区は、4つの通りから構成されている。上通は、古着店や老舗の和菓子屋、まちなか工房が位置し、幅広い年齢層の人たちが行き交う並木坂と、古さと新しさが融合した独特の雰囲気を持つ上乃裏通りから成り立つ。通町筋は、市電が通る市街地のメインストリートであり、上通、下通のアーケード入口に面し、百貨店、美術館、ホテルが立ち並び、下通は、デパートや様々な店が建ち並び、熊本で一番通りが多い場所である。居酒屋などの飲食店も多く、夜になると昼とは違う賑やかさを見せる。サンロード新市街は、下通、シャワー通り、辛島公園・交通センターを結ぶ。熊本の映画発祥の地で、現在も多くの映画館が残っている。

下通アーケード

熊本駅周辺地区

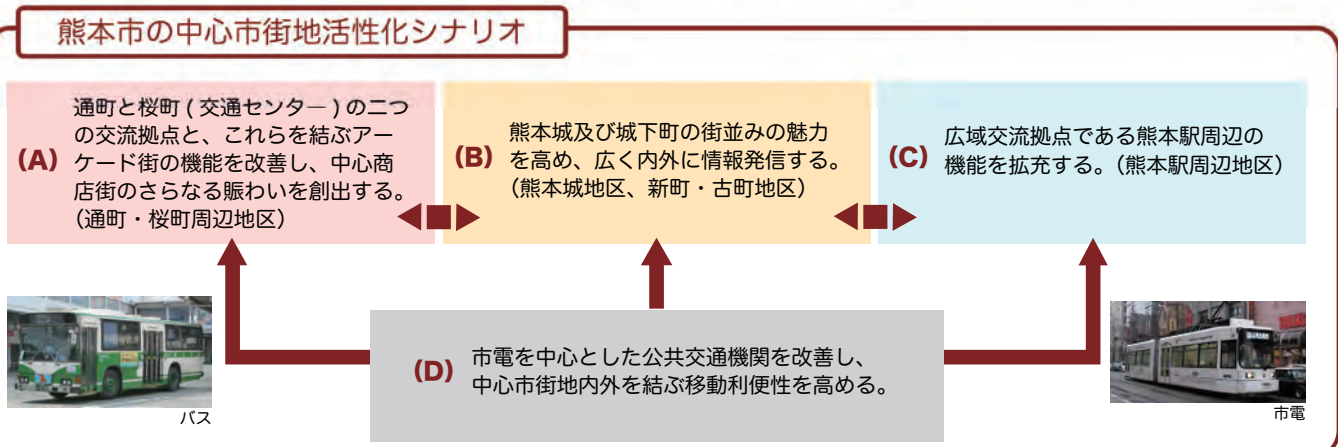
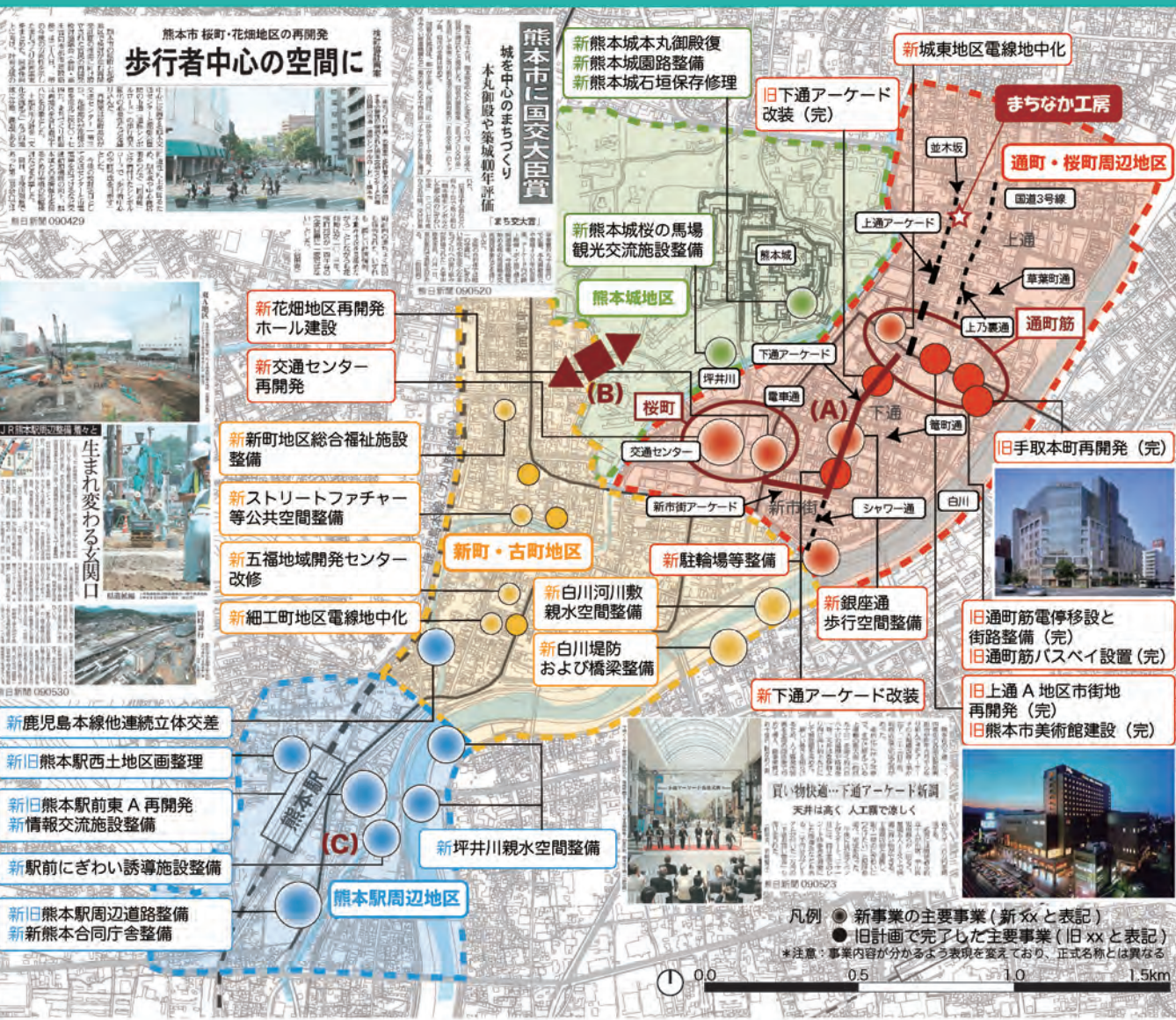
鉄道による熊本の玄関口。周辺土地利用の更新が遅れていたが、平成23年春の九州新幹線鹿児島ルート全線開通が迫り、複数の大型事業が着工、街が急速に変わり始めた。

熊本駅前完成予定CG

都市デザインガイド作成および公共空間デザイン (駅周辺都市デザイン専門会議)

H23 新熊本合同庁舎A棟整備 (シザベリ・安井)
H24 新熊本合同庁舎B棟整備
H23 駅西口広場整備 (佐藤光彦)
H23 新幹線駅舎整備
H23 駅東口新定広場上屋 (西沢立衛)
H30 在来線駅舎整備 (安藤忠雄)
駅前にぎわい誘導施設整備
H23 駅前東A地区再開発 市情報交流施設整備 (増山 晃太 (星野研究室))
坪井川親水空間整備

熊本市の中心市街地活性化基本計画と紹介



まちなか工房の4つの理念と中心商店街の中にある「まちなか工房」

熊本の中心市街地活性化基本計画では複数の大規模事業が進んでいます。それらの相乗効果を発揮させるとともに、地域全体の活性化や市街地整備に結びつけるようなエリアマネジメントが不可欠です。まちづくり会社が具体的な業務内容を模索中であるなど、その実践方法には不透明な部分もありますが、きめ細かい地域情報の蓄積とそれを踏まえた課題や計画の診断など、「まちづくりの家庭医」としての役割こそが工房の最重要任務と考えています。

2005年5月に熊本市中心部の上通並木坂商店街にある店舗ビルのワンフロアを借りて「まちなか工房」を開業しました。毎年度、工学部教員を対象に工房利用研究プロジェクトを公募し、採択された教員(工房教員)数名とその指導を受ける学生(工房学生)30名弱、さらには工房活動を支援する特任教員2名が研究スペースを拠点に活動しています。平日昼間には、事務担当職員1名も常駐しています。

1 研究教育と連動した地域情報の蓄積

地域情報の蓄積

まちなか工房では学生の研究を通し、まちづくりのための基礎資料としての地域情報を蓄積しています。

地域の魅力を高め、賑やかなまちへ!

ヒアリング調査風景 夜間連続立面写真(夜間照明と照度の関係図)

3 市民のまちづくりに関する学習交流機会の提供

まちづくり学習会など

月に1回まちなか工房に講師を招聘しています。2005年度から55回のまちづくり学習会が行われました。講師数は75名、うち工房外講師は62名に昇ります。

桜町プロジェクト学生提案 学習会風景

2 官民まちづくり組織の連携支援

中心市街地活性化協議会への参加と役割

2006年に立ちあがった中活協議会において、まちなか工房は準備会から参加し設立会員となりました。各地区・地域の事業を考える部会では部会長として活動企画や意見調整役を務めています。また、工房学生も調査結果説明など会議参加の機会を得ています。

中心市街地活性化協議会幹事会における学生の発表の様子

4 地元民間組織のまちづくり活動支援

イベントの運営参加など

2005年度に商店街組織と共同で秋の季節イベントを開催し、その後ゆかた祭り・銀杏祭り・えびす祭りなど賑わい創出に向けたイベント開催のボランティアとして、商店街青年部のメンバーと共に活動しています。

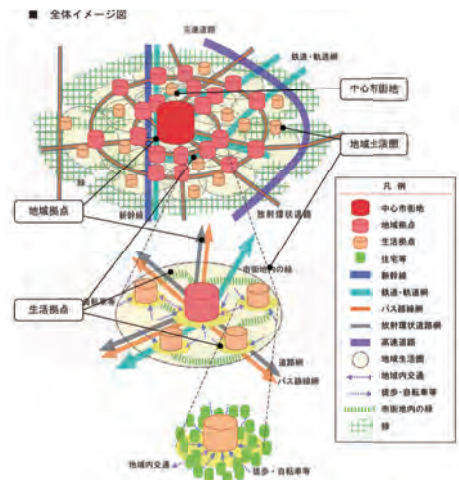
ゆかた祭りの運営に参加した学生

コンパクトシティ計画に関する基礎研究

旧熊本市における施設サービスの便利さ

まちなか工房に蓄積された基礎資料の中から、コンパクトシティに関する一連の調査について取り上げます。

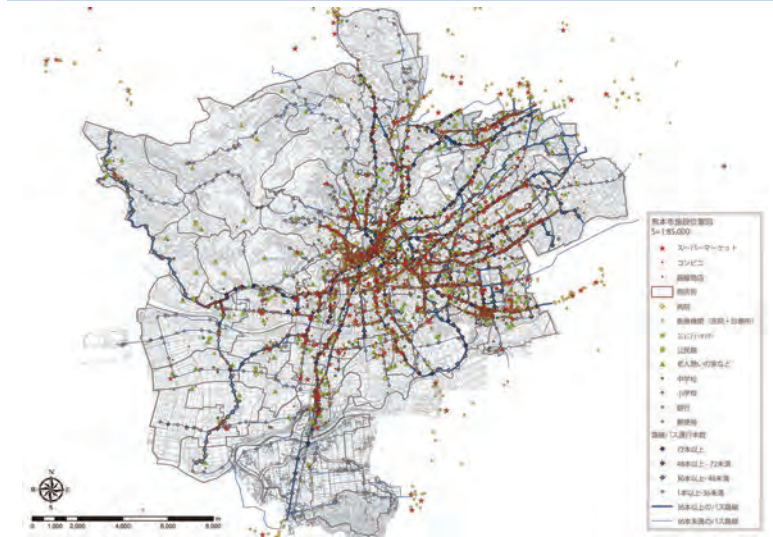
第2次熊本市都市マスタープランにおける都市空間の構成方針



熊本市ではH21.3に第2次都市マスタープランを策定し、『豊かな水と緑、多様な都市サービスが支える活力ある多核連携都市』を将来像として設定しました。

本研究では、生活サービスの基本となる商業、医療、公共サービスの施設立地に関する現状を把握します。また、地域拠点・生活拠点の候補地を明らかにし、課題を明らかにします。

旧熊本市の生活サービス施設立地情報の収集



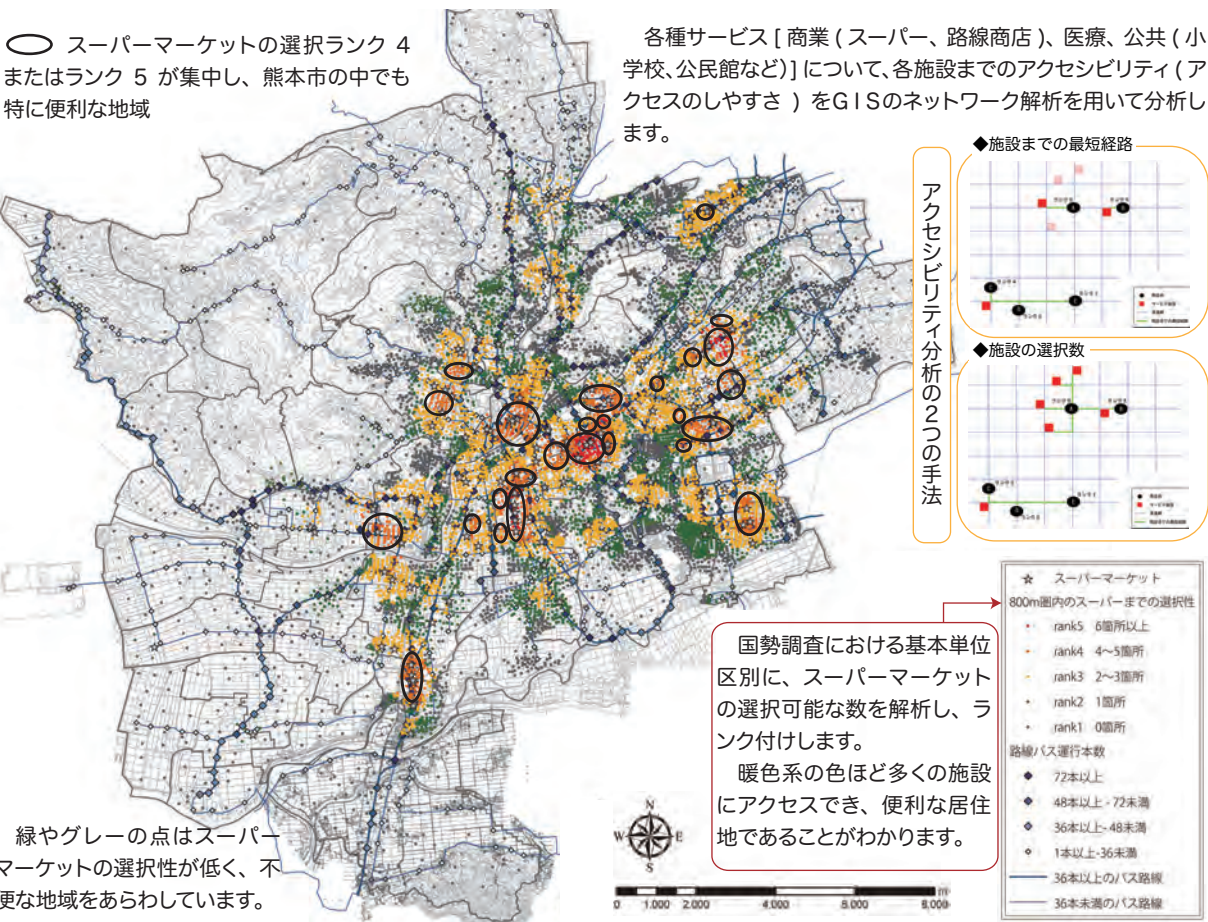
施設の集積情報を把握するために、各生活サービス（スーパーマーケットや病院等）の施設立地状況や、バスの運行本数を把握します。収集したデータを上図のように地図上にプロットし、地域の利便性を分析するための基礎資料とします。これらのデータから分析した結果の一部を右に紹介します。

蓄積された情報からの地域の利便性に関する分析

各種サービスのアクセシビリティ分析 - スーパーマーケット選択性分析 -

○ スーパーマーケットの選択ランク 4 またはランク 5 が集中し、熊本市の中でも特に便利な地域

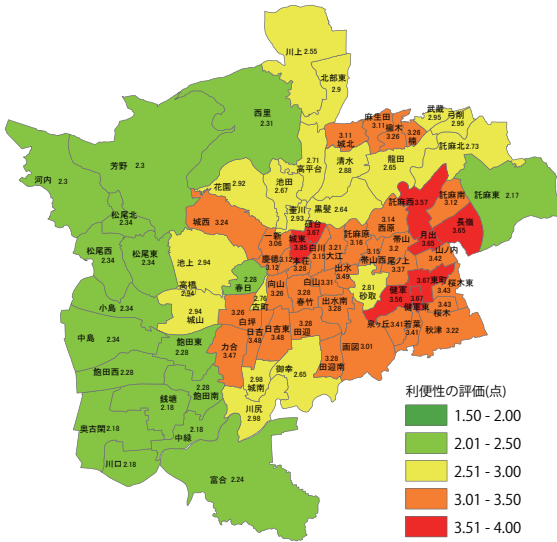
各種サービス[商業（スーパー、路線商店）、医療、公共（小学校、公民館など）]について、各施設までのアクセシビリティ（アクセスのしやすさ）をGISのネットワーク解析を用いて分析します。



緑やグレーの点はスーパーマーケットの選択性が低く、不便な地域をあらわしています。

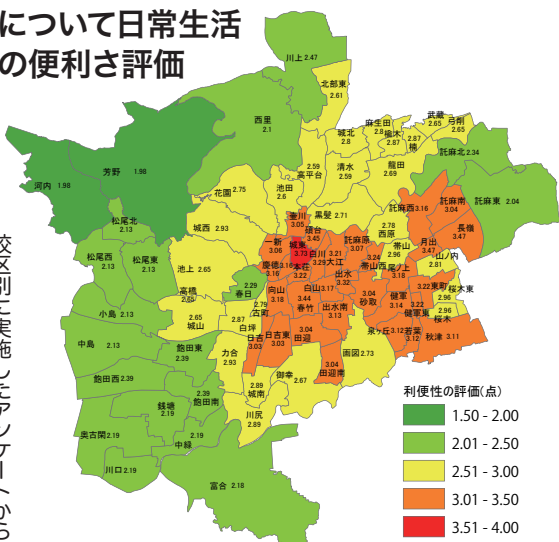
国勢調査における基本単位別、スーパーマーケットの選択可能な数を解析し、ランク付けします。暖色系の色ほど多くの施設にアクセスでき、便利な居住地であることがわかります。

買物や飲食について日常生活の便利さ評価



校区別実施したアンケートから集計。点数が高い方が便利さの評価が高くなります。

生活サービス（美容・習い事・娯楽など）について日常生活の便利さ評価



その他

- 多核連携都市に向けた、熊本市内における地域・生活拠点の検討
- 小学校区別市民生活実態ヒアリング調査のワークショップや日常生活動向アンケート調査からも交通手段や頻度、サービスの違いによる利用場所など分析 etc.

開催日	開催内容
2005年度	07月01日 両角光男(まちなか工房) 熊本市中心市街地の現状と活性化の課題
08月08日	溝上章志(まちなか工房) 人を呼び込むまちなかの交通計画
09月08日	小林一郎(まちなか工房) 白川・坪井川の親水空間を活かすまちづくり
10月13日	富士川一裕(まちなか工房) 金沢・岡山・熊本 まちなかの特徴比較
11月07日	「平成の城下町」新たな魅力づくりに向けて 東川庄一(堅町商店街振興組理事長) 村田秀彦(アール・アイ・エー) 木下浩之(金沢市都市対策局総合調整課) 大野慶子(岡山市東京事務所) 高田美紀子(表町おかみさん会会長) 泉冬星(中心商店街等連絡協議会会長) 富士川一裕(まちなか工房)
12月19日	両角光男(まちなか工房) 三都市シンポジウムのレビュー
01月12日	三橋重昭(NPO法人まちづくり協会理事長) 郊外大型店とまちづくり
02月15日	前田芳男・富士川一裕(まちなか工房) まちなか活性化ビジョンワークショップ
03月17日	溝上章志(まちなか工房) 吉武哲信(宮崎大学) 高田晋文(愛媛大学) 土井健司(香川大学) 中心市街地活性化の実践方策
2006年度	04月12日 溝上章志・両角光男(まちなか工房) 郊外大型店出店の影響を考える
05月18日	上村博之(熊本市都市整備局水道部下水道政策課) まちなかの下水道のしくみと今後について
2007年度	04月27日 上野真也(熊本大学政策創造研究センター) 熊本の未来と政令指定都市
05月07日	近田玲子(近田玲子デザイン事務所) 光のまちづくり
08月04日	小林一郎(まちなか工房) 欧州の歩道橋:大義への共感
09月22日	吉本光宏(ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室長) アートによる都市再生の戦略
10月22日	まちづくりシンポジウム 美しい城下町くまもと・その街なかに住む 工藤和美(東洋大学) 正木遼夫(県マツシヨ管理組合連合会長) 泉冬星(熊本市中心商店街等連合協議会代表) 石橋央朗(株)BS不動産代表取締役社長) 反後人美(チユル&ルモックビ ヲリア代表) 竹下輝和(九州大学) 磯田節子(八代工業高等専門学校)
10月27日	遠藤玲(芝浦工業大学) 自律移動支援システムとまちづくり
11月15日	(1)中心市街地活性化基本計画の策定方針ならびに県事業の検討状況、民間事業抽出を含む今後の作業見通し(熊本市) (2)六商協エリアヒアリング結果に基づく、事業のアイディアや補助事業の展開可能性について(まちなか工房)
12月13日	助川たかね(映画専門大学院) 水辺環境活用のためのマーケティング ～まちの個性と賑わいのプロデュースを考える～
01月18日	本田正弘(熊本市経済振興局商工振興部) 熊本市中心市街地活性化基本計画(素案)と今後の取り組みについて
02月08日	黒川雅之(建築家) 12の建築と12の思想
03月06日	白井隆(白井庭園都市計画事務所) 庭園都市計画のすすめ
03月14日	土井健司(香川大学) 古川康造(高松丸亀町商店街振興組合) 高松中心市街地の現状と将来ビジョン
03月21日	まちなか工房に所属する学生 大学生から上ノ裏通りへのまちづくり提案&意見交換会
03月06日	柴田嘉和(株)しばた洋傘店代表取締役) (新天町商店街公社監査役) 博多の花道-新天町の商店街整備と運営について
05月25日	溝上章志(まちなか工房) 富士川一裕(まちなか工房) 上通地区をモデルとした街区整備手法の研究結果 平成18年度全国都市再生モデル調査
06月29日	吉野勇(熊本市都市建設局都市政策部 都心活性化推進課) 「熊本市中心市街地活性化基本計画」概要と特徴、駅周辺地区の計画と今後の見通しなどについて
07月20日	大本照憲(熊本大学) 白川河川氾濫の模型実験結果の紹介 山田文彦(熊本大学) 水害に対する地域防災力向上を目指したリスクコミュニケーションの実践的研究
08月27日	望月照彦(多摩大学) 21世紀のまちの「ミュージアムシティ」は可能か-まちなかの地域資源を活かしたまちづくり戦略-
09月25日	松下美紀(株)松下美紀照明設計事務所) あかりによる熊本の夜間景観の演出
11月06日	まちづくりシンポジウム 城下町に住み集う～「街が変わる」から「街を変える」へ～ 東川庄一(堅町商店街振興組理事長) 市村達也(金沢市企画調整課主査) 古市大蔵(岡山商工会議所都市づくり委員会委員長) 高次秀明(岡山市企画局次長) 泉冬星(熊本市中心商店街等連合協議会代表) 富士川一裕(まちなか工房)
2月11日	松永信弘(熊本県土木部土木技術管理室) 討論者:溝上章志(熊本大学) 「ボ-ラド」の中心市街地活性化の取り組みや仕組みに学ぶもの」
01月23日	まちなか工房に所属する学生 商店街における自主防災を考えるワークショップ
02月18日	佐藤滋(早稲田大学) 古庄修治(熊本市企画財政局企画広報部企画課) 城と城下町を活かすまちづくり
03月06日	まちなか工房に所属する学生 大学生が提案する中心市街地(通町桜町地区)のまちづくり構想]
2008年度	04月24日 伊東正示(シアターワークショップ) 劇場やホール施設の整備とまちづくり
05月22日	桜井武(熊本市現代美術館) 現代美術館とまちづくりについて
06月09日	富士川一裕(まちなか工房) まちづくりの目標像と桜の馬場整備
07月10日	有村佳子(指宿ロイヤルホテル会長・国土交通省観光カリスマ) 指宿の温泉・観光と健康でまちおこし
08月28日	斉藤参郎(福岡大学) 回遊マーケティング
09月26日	木下育(有限責任事業組合市街地経営研究機構代表) (熊本城東マネジメント株式会社代表取締役) "まち"を運営すること(日本型まちづくりからの脱却と地区経営手法の育て方)
11月10日	坂村健(東京大学大学院情報学環教授) (TORONプロジェクトリーダー) ユビキタスインベーションどこでもコンピュータが世界を変える
12月11日	金丸弘美(食環境ジャーナリスト) 食を通じた地域プロデュース
01月22日	藻谷浩介(日本政策投資銀行参事役) くまもとのまちの活性化の処方箋
02月19日	まちなか工房に所属する学生 地元と大学が協働した桜町周辺再開発への提案
03月18日	黒竹節(京都くろちく(株)代表取締役社長) 歴史に学ぶまちの再生(課題)
2009年度	04月23日 養茂寿太郎(熊本県立大学理事長) 熊本を見る-ランドスケープアーキテクトの眼と心-
05月28日	藤田義崇(ソウル大学環境大学院) ソウルにおける交通体系改編事業等の概要と示唆点
06月18日	まちなか工房に所属する学生 調査から見てきたまちなかの回遊特性
07月19日	木村俊昭(農林水産省大臣官房政策課) 熊本に求められる地域再生の取り組み
07月23日	山下永子(財団法人福岡アジア都市研究所) 福岡市におけるアジア政策の過去・現在・未来
08月19日	黒川洸(NPO法人日本都市計画家協会会長) 政令指定都市に向けた熊本市の都市戦略と中心市街地活性化
09月24日	熊本大学の留学生による討論会 「How cool Kumamoto is! (なんて素敵、熊本って!)」
10月22日	山下泰雄(通潤酒造) お酒とまちづくり
11月18日	根本長兵衛(政策研究大学院大学客員教授) 「百問は一見に如かず」仏ノント市の文化の都市工学
2010年度	01月09日 高山純一(金沢大学) 谷口守(筑波大学) 星野祐司(まちなか工房) 熊本のモビリティデザインを考える
02月25日	村田秀彦(アール・アイ・エー) 金沢の町にのっての近江町市場
03月23日	齋藤参郎(福岡大学) および研究室学生 回遊行動調査からまちづくりをはじめよう
04月30日	石原武政(関西学院大学商学部教授) 中心市街地における小売業の果たす役割
05月27日	星野祐司(まちなか工房) 前田芳男(ToToハウス) まちなか工房に所属する学生 H21 年度地域景観づくり支援事業の報告と景観まちづくりワークショップ
06月24日	澤治彦(さむら文化研究所・ランドスケープアーキテクト) まちづくりと庭づくり
07月22日	川村洋子(熊本大学政策創造研究教育センター) 健康まちづくりについて-表現活動を通して地域のつながりを強める-
08月25日	藻谷浩介(日本政策投資銀行地域振興グループ 地域支援班参事役) アジア交流時代に向けたまちづくり
09月30日	土谷和之((株)三菱総合研究所) コミュニティ・ファンドを中心とした社会的金融の潮流 ~まちづくりへの活用に向けて~